

ドイツ遠征に先立って

2008年 6月15日 第1回ドイツ遠征説明会 プラッツクラブハウス前で 遠征の目的、予算、日程等を説明

2008年 7月24日 第2回ドイツ遠征説明会 樹園大研修室にて、遠征についての詳細説明



【熊谷仁氏】 株式会社ムラキ・エージェンシー
初回からこの遠征をサポートしてくれている力強い味方です。保護者の方々と選手たちに細かくわかりやすく説明してくれました。

ピンボケの画像ですいません。



この説明会では、遠征の件で活発な??意見が出ました。

遠征への意気込みと心配事

【柿沼 恭平】 1993/4/12生まれ

この遠征はみんなが楽しみにしていて学ぶこともたくさんあると思います。言葉も違うし、文化も違うので、不安やいやな気分になることもあると思うけど、その壁を乗り越えれば、少しでも大きくなれると思います。この遠征で一人一人が変り、チームとしてまとまって、日本に帰ってきて、高円宮杯に望み、一戦一戦を大切に戦っていき優勝したいと思います。

そのためつらいことも乗り越え、精一杯頑張ることが大切だと思います。このドイツ遠征で、サッカー一面、生活面でひとまわり大きくなって帰ってこられるように努力していきたいです。



【森本 恭平】 1993/12/18生まれ

ぼくは、このドイツ遠征でいろんなことを学びたいと思っています。例えばドイツの人と交流したり、サッカーをドイツ人とプレーをしてうまいプレーをぬすんできたいと思います。他にはドイツはどのような国かを知りたいと思います。フォルトウナのみんまで行く機会は、最後なので、いい経験にしたいき、この遠征で学んだことを遠征後にある高円宮杯で活かして行きたいと思っています。

学びたいことは、ホームステイ先に行って、ドイツ人としっかりコミュニケーションをとって、相手のことをしっかり理解したいし、コミュニケーションをとることによって、サッカーの練習や試合…いろんなところで、チームの仲間や友達と話し合えるようになりたいと思っています。あとこのドイツ遠征では、しっかり「けじめ」をつけたいと思っています。ドイツ人と交流する時は、交流をしっかりして、試合のときは、相手と本気で戦えるようにしたいと思っています。

このようなことをしていき、今までの自分とは違うものを探し、今回の遠征でひとまわり大きくなって、プレーなどがしっかりできるようにしていきたいと思っています。



【中国 拳都】 1993/05/16生まれ

今回初めて外国に行きます。それも、サッカーをしいけることは自分にとってすごく嬉しいし、貴重な経験になると思う。日本とドイツはサッカーにおける環境が違うと思います。そんな違った環境の中で練習している同世代のドイツのせんしゅはいったいどんなプレーをするのだろう…自分のプレーはどこまで通用するのだろう…。期待に満ち溢れる半面、不安も募るばかりです。でも、不安に負けてチャレンジできず、後悔しないように全力でプレーしたいです。また、ドイツの選手のプレーをよく観察して、良いプレーを学んで遠征後のサッカーに生かしたいです。

そして今回の遠征で一番心配なのがホームステイです。言葉が通じない中でも積極的にコミュニケーションをとって自分を表現したい。これはサッカーでも同じことだと思うし、高校入試とかいろんな場面で生かされていくと思います。

全てのことを、プラスに考えて今回の遠征は、いろんなことにチャレンジしたい。たぶん自分が苦しくなる時が有ると思うけど、それは仲間も同じだと思うから、そんな時こそ、チームのこと、仲間のことを考えて行動ができる強い自分になりたいです。言葉で言うのは簡単だし、全てをやり通すことは難しいけど、やれることを一つひとつやって、出発時よりも大きな自分になって帰ってきたい。コーチや、友達、先生にもそんな自分を見てもらいたいです。それが今まで支えてくれた家族、親への最大のお土産だし、それによって感謝の気持ちを伝えたいです。

遠征に参加できない仲間(中村大輝)の分もたくさん学んできたいです。